

様式 1

授業科目 障害者福祉論 I

科目コード番号

【担当教員名】 手塚直樹、塩見義彦	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・栄養・社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択・選択・選択・選択・必修
	単位数	2	時間数	30

【概要及び学習目標】

<概略>

障害者福祉論は専門職として必要な障害者福祉の理念、障害の概念、障害者福祉の歴史や法律・制度等の理論を学ぶと共に、個々の事例を通して相談・援助の実際を具体的に理解していくことが必要である。そのために学習目標を設定し、障害者福祉を体系的に学習する。

<学習目標>

1. 現代社会における障害者福祉の理念、原則、将来方向を学習する
2. 障害の概念、障害別特徴、障害者の実態を学習する
3. 障害者福祉の歴史、最近の動向、法律・制度を学習する
4. 関連分野の状況と連携の必要を学習する
5. 事例を通して援助の実際を学習する

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1~2	障害者福祉の理念、原則	人権、ノーマライゼーション、リハビリテーション、QOL等の基本理念	講義 (ビデオ等映像を併用) (以下同じ)
3	障害の概念、障害別特徴	法律による概念規定、WHOの国際障害分類、障害別特徴	
4~5	障害者福祉の歴史、最近の動向	障害者福祉の歴史、国際障害者年、社会福祉基礎構造改革等最近の動向	
6	社会リハビリテーション、職業リハビリテーション	総合リハビリテーションの理解と、社会・職業リハビリテーションの内容	
7	障害者・親の会等の運動、民間活動	障害者・親の会等の運動、自立生活運動、社会福祉協議会等民間活動	
8~9	障害者福祉関連分野	職業・教育・情報・文化・スポーツ等の状況と関連分野の連携の必要	
10	障害者の実態、状況	国・県・地域レベルの障害者統計、実態の内容	
11~13	障害者福祉の法・制度・サービス体系、内容	障害者基本法をはじめ各法律、制度、サービス体系と内容および課題	
14	事例を通してみたニーズの把握と相談・援助の実際	障害者・家族の事例を通して相談・援助の実際、方法、問題点	
15	障害者福祉の課題、方向および全体のまとめ	障害者福祉の課題、将来方向の理解と全体を通してのまとめ	

【評価方法】

レポート・試験・出席状況から総合的に評価する。

【履修上の留意点】

特になし。

【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	『障害者福祉とはなにか』	手塚直樹 著	ミネルヴァ書房	2002年3月 価格 未定
参考文献	講義の中で適宜紹介			